

## 会 議 録

会議名 (審議会等名)	令和5年度第4回小金井市廃棄物減量等推進審議会		
事務局 (担当課)	小金井市ごみ対策課		
開催日時	令和5年12月25日(月)		
開催場所	小金井市野川クリーンセンター		
出席者	委員	<出席者：9名> 渡辺会長・岡山委員・溝入委員・岸野委員・林委員・齋藤委員・清家委員・石原委員・續木委員  <欠席者：4名> 大関委員・土屋委員・齋藤委員・堀越委員	
	事務局	今井ごみ対策課長・鈴木ごみ処理施設担当課長・立崎減量推進係長・高田清掃係長・高橋施設係長・高花	
傍聴者の可否	可	傍聴者数	0
会議次第	1 開 会 2 報 告 3 議 題 令和6年度小金井市一般廃棄物処理計画の策定について 4 その他		
会議結果	別紙審議経過のとおり		
提出資料	別添のとおり		
その他			

(審議過程) 主な発言等

渡辺会長	これより令和5年度第4回小金井市廃棄物減量等推進審議会を開催する。
立崎減量推進係長	(配付資料確認) (会議録確認)
今井ごみ対策課長	(「報告事項」について説明)
鈴木ごみ処理施設担当課長	(「報告事項」について説明)
林委員	「おいくら」は複数のリユースショップへ査定依頼が出せると書いてあるが、査定依頼を出す市民が自ら店舗を選ぶのか、それとも複数の店舗に自動的に査定依頼がされるのか。
事務局	買取査定を希望する市民が「おいくら」に品物の情報を入力すると、「おいくら」から複数の店舗に査定依頼が出される。取引を希望する店舗は査定金額を「おいくら」に提示し、それを一覧にしたものが、買取査定を希望した市民本人宛に届くので、その中で市民自身が取引店舗を選ぶことができる。もちろん買取金額等に納得できなければ取引をしなくてもよい。
渡辺会長	入力した情報がどの店舗に行くかは、「おいくら」のシステムで自動的に決まるということか。
立崎減量推進係長	「おいくら」登録店うち、どこの店舗が査定額を出してくれるのかは、わからない。ただ、取引したい店舗のエリアは、買取査定を希望する方が選ぶことができる。
林委員	買取価格がつかないこともあり得るということでしょうか。加工して引き取るということも考えていないのか。
今井ごみ対策課長	引き取り先次第である。例えば、有価で買い取って、そのまま売れると考えている店舗あれば、ゼロ円査定として無料で引取って、その後、付加価値をつけるために作業して出品する店舗もあると思う。

(審議過程) 主な発言等

林委員	取引の成約状況は、市でモニターできるのか。
今井ごみ対策課長	報告はもらえることになっている。
林委員	取引の成約状況など、年間どのくらいが「おいくら」で処分されたのか、何らかの形で把握できるのか。
立崎減量推進係長	申込件数と査定件数までの情報はもらえる。
今井ごみ対策課長	成約件数は報告には含まれない。
岡山副会長	「まとめて片付け 不用品」という項目があるので、おそらくこのサービスの中には不用品の処分として処分料を払わなければならないものもありそうだ。小金井市に粗大ごみで出すほうが安いのか、こちらで出すほうが安いのかで比べることもできるのではないのか。
今井ごみ対策課長	査定依頼は一度に15品まで出せる。「まとめて」とはいつでも、「おいくら」は買取査定のプラットフォームなので、処分料を払うことはないと認識している。
渡辺会長	「おいくら」とジモティーを並行して展開していくのであれば、ジモティーの方は出品された点数の把握はできるのか。
今井ごみ対策課長	ジモティーは「小金井市ごみ対策課」のアカウントで我々が管理しているため、出品・成約はすべて把握している。重量についても、出品の際に小金井市野川クリーンセンターで計量しているため把握できている。
黒須委員	可燃ごみ処理施設の水銀測定装置というのはどこに設置するのか。
鈴木ごみ処理施設担当課長	水銀測定装置は、浅川清流環境で2台、構成3市で各市1台を、それぞれの予算で購入することになり、現在購入準備をしている。活用方法としては、可燃ごみ処理施設で実施する搬入物検査などで使っていくと考えている。

(審議過程) 主な発言等

渡辺会長	具体的にはどのようにして測定するのか。
今井ごみ対策課長	大きき20cmくらいの携帯型の測定器で、検知するためのセンサーがついており、そのセンサーを3cmくらいまでごみに近づけて、空気中の水銀の飛散状況を確認する。
渡辺会長	密閉されていたらどうなのか。
今井ごみ対策課長	密閉されていたり、割れていない、破損していない場合は、少し感度が落ちるのではないかと思う。ただ、他の焼却施設の使用例では、ビニールの上にかざしても検出できると聞いている。
鈴木ごみ処理施設担当課長	浅川清流環境組合で実施した測定デモに参加したが、本当に小さな機器だった。ごみに近づけて大気中の水銀を測定するもので、実際に水銀体温計を割ってドラム缶に入れ、そこに装置を近づけると数値が跳ね上がって表示されることを確認できた。
黒須委員	大量のごみはどのように測るのか。
鈴木ごみ処理施設担当課長	全てのごみに対して検査するというのは難しいが、詳細について3市で調整して有効活用していく。
渡辺会長	どういう場面で使うことを想定しているのか。積み込むときに収集員がそれを持って使うのか。
今井ごみ対策課長	各市で収集してきた後、ピットに落とすまでにどういう形で活用できるかということになる。事業系一般廃棄物の搬入物検査や組成分析の際に、検体をピットに広げて検査をしているので、全量ではないにしても、どこかのタイミングでサンプルを取ってチェックするといったかというところまでの活用が現実的だと思う。まだ実際に機器が納品されていないことと、各市でごみの出し方が違うので、どういったタイミングで、どういう手順で検査するのが一番良いのかということは、納品後に3市で調整していきたい。

(審議過程) 主な発言等

鈴木ごみ処理施設担当課長	今年度は立て続けに水銀が検出されてしまっているため、少しでも検査行動をしようということになった。
渡辺会長	リチウム電池について、チラシをみると限られた製品だと思われるかもしれない。次にこういった啓発物を作る際には、おもちゃやポータブル扇風機にも入っていることを例示したほうがよい。
黒須委員	確かに、音の出る絵本やおもちゃなどは、ボタン電池やリチウムイオン電池が入っているという意識なく捨ててしまう気がする。ぜひ次回は、市民が思ってもいないようなところにも電池が入っているということを伝えられるようにしていただきたい。
石原委員	チラシの「プラスチックごみで出せないもの」にあるCDやDVDは、ほぼプラスチックでできているが、蒸着仕様されているから出せないということか。
高橋施設係長	小金井市の分別区分では不燃ごみとしている。
渡辺会長	これを製品プラスチックで出すと何か支障があるということか。
今井ごみ対策課長	材質100%のプラスチック製品を基準に、プラスチックごみと不燃ごみに分けている。資源物処理施設が立ち上がった後に製品プラスチックの再商品化とする際も同じルールで実施していく予定のため、ここは変更しない。
立崎減量推進係長	(「令和6年度一般廃棄物処理計画(案)」について説明)
岡山副会長	10ページの「生ごみ資源化施策の推進」は非常に重要なところだが、具体的な取組が市立保育園だけになってしまっている。小中学校側は今使用している生ごみ処理機を使い続けたいということなのか、給食残渣を袋に入れるボックスなどが嫌ということなのか。

(審議過程) 主な発言等

今井ごみ対策課長	<p>令和6年度は保育園、令和7年度は小・中学校も処理方式の変更を実施するものと承知している。</p> <p>ただ、土曜と夏休みの生ごみリサイクル投入については解決していない。また、令和7年度に処理方式を変更した場合に、どのような段取りで実施されるのかもわからず、実現に向けた調整にはまだ着手できていないという状況である。</p>
岡山副会長	<p>取りあえず、令和6年度は現行の大型生ごみ乾燥処理機を1年間使用延長ということになると思うが、それならば、生ごみリサイクル投入は令和6年度もそのまま続けることができるのではないか。</p>
今井ごみ対策課長	<p>生ごみリサイクル投入は、令和6年度中は続けられる。</p>
林委員	<p>その間に次の対応策を考えておかないと、また来年の今頃になって、少なくとも土曜投入のほうは廃止という話になりかねない。市も、廃止なら廃止にするという決意を持って進めなければならないと思う。</p>
今井ごみ対策課長	<p>処理方式が変更になると、金曜の給食残渣を月曜に搬出することになる。通常であれば投入日は土曜日で良いと思うが、夏休みのように給食調理がない時期に、わざわざ月曜日に引き取りに来てもらうのであれば、土曜日に生ごみを投入するよりも日曜日に投入したほうが、腐敗の進行やにおいの発生を軽減できるのではないかという意見が学校側からあった。夏休みの間と通常とで曜日を変えるのも活動のスケジュールが組みにくくなると思うので、投入日を土曜日から日曜日に変更するというのも一つの案になり得るかと思う。</p>
岡山副会長	<p>市民からの生ごみが繋がっていないと、11ページ「(仮称)くるカメ給食」にも繋がっていない。市民から出た生ごみが八王子市の民間施設でリサイクルされて、食品リサイクル堆肥になって戻ってくるし、野菜にもなって戻ってくるということで、何とか投入実績を伸ばしたい。単にごみ袋を使用して保管箱で保管するのが嫌だということだけであれば、もう少し安価な生ごみ処理機を代替案にするということも検討の余地</p>

(審議過程) 主な発言等

林委員	<p>はあるのかと思うがいかがか。</p> <p>資源循環をしているんだという意識的なものが育っているかどうかだと思う。様々な意見が出てくるところをみると、市として積極的に進めたい、学校として進めたい、という感じを受けない。だからやはりそこをもっと意識的にやっていただけるように部局の中で理解を深めてもらうことが必要なのではないかと思う。</p>
岡山副会長	<p>非常に小金井市らしい取組で、小金井市の小学校ならではのと思うし、小金井市の小学校である以上、そういう取組を大事にしてもらいたいと思う。</p>
渡辺会長	<p>本当に特徴的でユニークな事業だと思う。誇ることのできることだと思っているので、ここで立ち消えということになると非常にもったいないように思う。</p>
岸野委員	<p>ただ学校に丸投げするだけではないかと思う。最終的には学校や教育委員会が判断するので、どうしようもない部分もあるが、何とか頑張っていたきたい。</p>
林委員	<p>9ページの目標値の記載で、令和4年が363グラム、令和12年が355グラムとあるが、これに対応する数字がどこに記載されているのかわかりにくい。せつかく355グラムという令和12年度の目標値を掲げて、現状はこうですとしているが、そこから先の内訳が見えない。</p>
渡辺会長	<p>6ページの表の、燃やすごみから有害ごみまで足し合わせると363グラムになる。数値を四捨五入しているの、少し数値は異なるが、この表に1行入れて小計をつけるか、資源化されないごみを合わせて363としても良いかもしれない。</p>
林委員	<p>右側に説明が記載されているが、目標値と謳っているのだから、何を減らすといった記載も少し明確になっていたほうが良いのではないか。</p>

(審議過程) 主な発言等

岡山副会長	6 ページの表に小計が複数あるので、ここに1行加えて「小計1」「小計2」「小計3」としてはいかがか。有害ごみと資源物の間に「小計1」を入れる。家庭系で「小計2」、事業系で「小計3」とすれば、9 ページの目標値の説明に「6 ページの小計1」というように書ける。
渡辺会長	11 ページの重点項目の表中「市職員に対するごみ減量・分別の周知徹底」のところ、「令和6年度」と記載が追加されたが、すでに作られているのであれば内容が知りたい。
事務局	林委員からご指摘があったため、改めて年度について追記させていただいた。 市施設のごみを減らそうという「小金井市施設ごみゼロ化行動基本計画」があり、その下に毎年度策定している「小金井市施設ごみゼロ化行動実施計画」がある。例年、年度の終わりに市施設を所管している各部署から翌年度の計画が示されているため、現時点では策定されていない。
渡辺会長	この基本計画や行動計画には、ごみ対策課は直接関わっていないのか。
今井ごみ対策課長	管財課が掌理しており、ごみ対策課は第二庁舎の部会の部長となっている。主動的な役割ではないが、コロナ禍を理由に計画が進展しないことが懸念されたため、ごみ対策課が実施して全庁的に広げたい取組みを各部会に呼びかけて追記してもらい、計画に盛り込んだりするという事は行っている。
渡辺会長	市全体の話から見れば小さい話なのかもしれないが、市としての取組を進めるには、一番事情を分かっているごみ対策課が積極的に関わっていくのが良いと思う。
林委員	これは市の職員に対する取組内容だということだが、市の施設ということであれば、市職員に対する周知徹底なのか、利用する市民も含めた周知徹底なのか。



(審議過程) 主な発言等

今井ごみ対策課長	部会ごとに出している方針は少しずつ異なっているが、マイボトル、マイ箸の持参や、ごみになる容器に入った弁当は買わないなど、共通しているのは市職員に対する取組である。
林委員	それならば、市の職員が出しているごみがどのくらい減ったかどうかということモニターできないと意味がない。
今井ごみ対策課長	排出状況の量まではモニタリングしている。
林委員	その辺は、次の評価のときに、例えば「前年に比べて約2割減りました」というようなことが謳えれば良い気がする。
今井ごみ対策課長	全体をどう進めていくかというのが課題である。 実態とすると、例えば住民情報を扱っている部署は紙ごみが非常に多い。OA機器をしっかりと使えば印刷しなくて済むものがあつたりするのだが、そういったところに限ってごみ箱がフロア中に置かれていたりする。ごみ対策課ではごみ箱の数を減らすよう働きかけたりしているが、OA機器をどう使って運用していくかというところは、事業主管課次第となるため、ごみ対策課は関与することが難しい。そういったところもあり、部会それぞれで考えていくところを残さなければならない。
林委員	市報記事で市施設のごみ排出量が一覧になって掲載されているが、あれは意味があるのか。
今井ごみ対策課長	前年度との比較することを意識し、毎年掲載している。 その結果を反映させるのが「小金井市施設ごみゼロ化行動実施計画」の本来の姿だと思っている。資源化率を何%以上にしようとか、それを維持しようといった目標を掲げてはいるが、そこを意識した処理方策というのを各事業所管がしっかり選択できているか、それに関して何か考えを及ぼすことができているのかどうかというところがなかなか見えてこないことが課題である。 ご意見のとおり、ごみ対策課が処理施設、処理方策、最新の情報に精通しているので、そうした情報提供を求められれば当然伝達するが、最近では求められることがない。その意識付け

(審議過程) 主な発言等

渡辺会長	<p>をどうするかも課題であると思っている。</p> <p>基本的には、市役所も減らす努力しているので市民も協力してください、というところだと思うので、そのメッセージも伝える価値はあると思う。</p> <p>それから、8ページ下から6行目に「食品を扱う事業者に対し、」という記載が追加されたが、事業者と利用者の両方が参加しなければ成り立たない話だと思ったがいかがか。</p>
今井ごみ対策課長	<p>導入当初にチラシを配布したこともあり、利用者側は一度に400人弱の登録があった。一方で、店舗側の登録が10店舗に満たない状況で、出品している事業者に至っては、まだ3店舗となっている。まずは「小金井カメすけ」に登録していただくことが必要だが、その先には出品するというハードルがある。良い取組だと言っただけだが、なかなか出品はしていただけない。市民の皆さんにユーザー登録をしていただいても、品物がないサービスでは上手く回らないので、まずは事業者に関心を持ってもらい、取組に参加していただきたいと考えている。</p>
岡山副会長	<p>アプリではないので、登録してもインターネットのサイトから確認しに行かなくてはいけない。それもユーザーのほうから少し不便かな、という声は上がってはいる。それから、全国的に「タベスケ」は出品が少ない傾向がある。小売店のほうが多いため、残りそうになってきたら、それを全部出品するところどころが少し面倒臭いと聞いたことがある。</p>
今井ごみ対策課長	<p>出品手数料が無料なので、広告媒体をあまり持たず、手広く事業展開していない事業者としては最も使いやすいシステムだと認識している。ただ、従業員が少なかったり、日々忙しかったりというところでは、出品の手間が取りにくいのかと思う。負担を軽減することはできないが、出品したらその分だけ見返りがあるというところを実感していただけるよう広めていきたい。</p>

(審議過程) 主な発言等

岡山副会長	小売店で小さいお店のほうがやりやすい一方で、量販店で出品ができてしまうと、ほとんどの出品がそればかりになってしまうというのもありがちなのかと思う。市民側が毎日欲しい物ではないということで繋がらないものもあるかと思うが、頑張っ てほしい。
渡辺会長	ヨーロッパではかなり普及しているので、なぜ日本では実施 しないのかと尋ねられる。
林委員	7ページの5年度の展開の活動結果で、「カメすけ」本格実施 開始協力店が8店舗と記載されているのは何のことか。「協力 店」だけでよい。
今井ごみ対策課長	登録店舗のことである。出品してくださっている店舗は新し いお客様も出てきたし、出品するたびにすぐ購入の予約が入る し、出品を始めて良かったと言ってくださっている。ただ、市 内の小売店は経営者が年配の方の場合も多く、職員が行って説 明しながら1回出品してみても、いざ2回目に1人で出品しよ うとすると不安になり出品に躊躇してしまうこともあるよう だ。そういったところをフォローできるようにしていきたい。
岸野委員	「組成分析の実施」について、一般の人に見学してもらって、 実情をもっと見てもらったほうが良いと思う。
今井ごみ対策課長	管理区域内での実施のため、一般の方の立ち合いは難しい。
渡辺会長	それでは、以上をもって審議会を終了する。